

最終走者のランナーを囲み一関市役所前にゴールする一関楽走会メンバー



金色堂9000年

地域の歴史
思いはせ

一関、平泉で駅伝

平泉町の中尊寺金色堂建立9000年を祝う駅伝イベントは23日、同町と一関市で開かれ、参加者がたすきをつないで同寺と関わりの深い地を巡り、地域の歴史や文化に思いをはせた。

地元マラソン愛好者らによる一関楽走会（佐藤東会長）が会報600号発行を機に活動継続を誓い合う記念事業で企画。会員と一般参加者計18人が出場した。市役所前で行われた開会行事には関係者を含め30人が参加。佐藤会長が「交通

ルールを守り事故に注意しながら金色堂建立9000年を祝ってほしい」とあいさつ後、第1走者を務めた一

28日デュアル

ライフ講話

シヨブカフェ奥州

シヨブカフェ奥州主催の職業人講話「奥州⇄東京・私のデュアルライフ」は、28日午前10時30分から奥州市水沢横町のメイプル地下第2会議室で開かれる。

職業人講話は毎月開かれている就活応援セミナーの一環。同日は、同市水沢立町の鉄道古民家カフェ「奥州懐古館・やまびこ」の伊

関学院高校2年の千葉祐哉さんと1年の小山一樹さん、三浦琥亜さんの3人が午前8時にスタートした。コースは国道342号を西進し、同寺と関わりの深い骨寺村荘園遺跡内にある駒形根神社前で折り返して同町のJR平泉駅前を通り、中尊寺月見坂を上って金色堂前に到達後、スタート地点の市役所に戻る総延長49・20キロ。全体を約5キロずつの10区間に分け、5時間45分かけて継走した。

同遺跡に入る前から雨が本格的に降り続くあいにくのコンディションとなったが、最後は参加した全員が全員でゴール。金色堂前までの4キロ区間を走った最高齢の佐藤文政さん（84）は「同町平泉字柳御所」は「中尊寺境内は前にも走っているが、金色堂建立9000年の節目に走ることができて良かった」と振り返った。

藤淳館長が講師を務める。

伊藤館長は定年退職を機に水沢の生家に同カフェを開業し、30年来の鉄道コレクションを展示している。家族が東京都に在居のため東京と奥州を行き来し、充実したデュアルライフ（二拠点生活）を満喫している。受講する場合はシヨブカフェ奥州などへの登録が必要。車で来場する場合はメイプル東館屋上、西館4階と屋上を利用する。

申し込み、問い合わせはシヨブカフェ奥州0197(23)63311へ。

競泳男子総合

花巻東が頂点

23日、盛岡市立総合プールで競泳競技と飛込競技が行われた。【7面に関連】

競泳の男子総合では花巻

第76回



ようの天気		最高	最低
12	15	18	21
24	29	21	21
28	27	21	21
26	26	21	21

日日電子新聞

26	21
32	23
33	26

日日草

高校球児の親子園。春季東北の優勝で幕を閉じ、いよいよ夏の田けた岩手大会が幕を待ち望んでいだろう。高校野球を伴って定着している「甲子園」や球児だけでなく多くの場所を目指してのぎをみると、俳句甲子園やダンス甲子園など甲子園大会が100近くあるなか、中の一つ、スゴGOMI会が先日、盛岡市内で開いたとスポーツを融合させた競技。3人一組となつてエリア内で1時間ごみをや種類を競う。日本財団策事業の一環で、今回は「トリート」捨てられ少なくなつてくるのに苦労したちは早歩きで移動したぞき込んだり。優勝したチームはそんな環境下でもい集めたという。かなり目に違いない。全国大会と歴史は浅いが、参加年々増加。昨年は前回より多い約2600人が挑戦、SDGsにもつながるさらなる盛り上がりに向け

割烹 赤藤

